

痛風治療薬と心血管イベント発生率について

痛風患者が使用している治療薬により心血管イベントの発生率に差が見られることが、*J Am Coll Cardiol* 誌に掲載されました。



解析の結果、100人・年当たりの心筋梗塞または脳卒中の発生率はアロプリノール群の2.83例に対し、プロベネシド群では2.36例（ハザード比0.80、95%CI 0.69~0.93）で有意差が認められました。



二次解析では、プロベネシドはアロプリノールに比べて心筋梗塞、脳卒中、心不全のリスク低下と関係していました。

